

平成 28 年 11 月 4 日
伊勢志摩サミット推進局
サミット総務課

「伊勢志摩サミット三重県民宣言（仮称）」の検討状況について

「伊勢志摩サミット三重県民宣言（仮称）」については、現在、骨子案について、県民の皆さんから広くご意見をいただきながら検討を進めているところです。

今後、11月27日（日）の「伊勢志摩サミットを契機とした県民活躍シンポジウム」での発表を予定しています。

1 意見聴取の状況

(1) 懇話会

① 「一般部門」（サミットで活躍した県民代表、公募委員の計20名）

ア 開催日 10月19日（水）13：30～16：30

イ 内容

伊勢志摩サミットの成果・レガシーを共有したうえで、宣言骨子案や、一人ひとりが三重の未来に向けどのような具体の行動をしていけばよいかという点について、参加者による意見交換や議論を行った。

ウ 主な意見

- ・サミットに関して県民の成功感、達成感を宣言に盛り込むべきである。
- ・三重が誇りうるおもてなし文化を高めていくべきである。
- ・「和の文化」は「おかげさまの文化」としてはどうか。
- ・県民として三重の文化を知ることが必要である。
- ・「平和」を安全安心だけにしてはどうか。
- ・骨子案にカタカナが多いのではないかと（ポテンシャル、レガシー、アクティブ・シチズン）。
- ・言葉が難しい。「親和」など骨子案では「和」にこだわってはいないか。 など

② 「若者部門」（「2016 大学生国際会議 in 三重」参加者有志8名）

ア 開催日時 10月22日（土）13：30～16：30

イ 内容

伊勢志摩サミットの成果・レガシーを共有したうえで、宣言骨子案や、一人ひとりが三重の未来に向けどのような具体の行動をしていけばよいかという点について、参加者による意見交換や議論を行った。

「一般部門」とは異なる若者ならではの意見が多く出た。

ウ 主な意見

- ・「次世代に引き継ぐ」や「知恵をいかして」という部分は年配者の表現だと思う。
- ・「おかげさまの精神」を知らない若者は多いと思うので、具体的に表現するべきである。

- ・「平和」は大ごとと感じる。「平和」とはどのような状態をいうのか。
- ・母なる地球ではなく、自分を地球のあらゆるものの母ととらえて地球を大切にしていきたい。
- ・郷土への愛着を高めるため、地域の行事に積極的に参加していきたい。
- ・国内外での認知を高めるため、まず自分が伝統・文化に触れて、その良さを感じていきたい。
- ・自分ができる小さなことから環境保全のために行動を変えていきたい。
- ・三重らしい言葉が欲しい（伊勢湾、伊勢神宮など）。 など

③「市町部門」（29市町）

ア 開催日 11月7日（月）（予定）

イ 内容

宣言骨子案や、一人ひとりが三重の未来に向けどのような具体の行動をしていけばよいかという点に加え、宣言をベースに県民と協創し、県民の行動、活躍を後押しするため、今後行政として何ができるかについてもご意見をいただく。

（2）個別の意見聴取

障がい者の方やジュニア・サミット参加者からの意見聴取も実施中。

（3）SNSでの意見募集

10月6日からSNS（県民会議 Facebook）による意見募集を実施中。
（10月31日〆切）

（4）職員アンケート

10月18日から県職員へのアンケートを実施中。

2 今後の予定

- 11月 7日（月） 懇話会「市町部門」
- 11月27日（日） 宣言発表